

佐賀県精神障害者スポーツ大会（ソフトバレーボール）  
さがハートピック 2019 競技規則

本競技は、日本バレーボール協会6人制競技規則に準拠する。但し、日本バレーボール協会制定のソフトバレーボール球を使用する。

第1条 施設と用具

- 1 コートは18m×9mの広さを持つ長方形とする。
- 2 ネットの高さは2m24cmとする。
- 3 ボールは円周78±1cm、重量210±10gの規格の、日本バレーボール協会制定のソフトバレーボール球（糸巻き）を使用する。

第2条 競技参加者

- 1 試合は6人制で行う。
  - ・チーム構成は監督1名、コーチ1名、マネージャー1名及び選12名以内とする
  - ・必ず女性選手が1人以上出場していること。
  - ・フリーポジション制は廃止する。(2012年度より)
  - ・リベロプレーヤー(守備専用の競技者)を設ける。(2012年度より)

第3条 試合形式・中断

- 1
  - ・試合は、1セット25点のラリーポイント制で、3セットマッチとする。
  - ・先に25点を先取したチームがそのセットの勝者とする。24対24の場合は2点差がつくまでデュースを行う。
  - ・試合は2セット取った方のチームをその試合の勝者とする。
  - ・最終セット（3セット目）でリードしているチームが13点に達した時には、直ちにコートを交代する。
- 2 チームには、6回（6人）の競技者の交代が認められる。（監督あるいはチームキャプテンのみが要求できる。）競技者の交代は交代競技者の背番号を口頭で指示する事で可能とする。ただし、いかなる場合も第2条を順守すること。  
この時、交代競技者は監督の脇で待機し、速やかな交代に応じるようにする。
- 3 交代競技者は、1セットに1度だけスターティングメンバーと交代して競技に参加できるが、競技から退く場合は同じ競技者としてしか交代できない。
- 4 チームには、タイムアウトを1セットにつき2回（1回30秒間）取ることができる。
- 5 例外的な交代として、負傷した競技者の代わりに、その時点でコート上にいないいずれかの競技者と交代ができる。（ただし、いかなる場合も第2条を順守すること。）
- 6 サービスの実行
  - ・主審がサービス許可の吹笛後、8秒以内にボールを打たなければならない。
  - ・サーバーはエンドラインの後方、かつサイドライン延長線の内側（サービスゾーン内）で打たなければならない。
  - ・サービスはボールがトスされたか、手から離された後、片方の手または腕で打つ。（片方の手

のひらに置いたままのボールを、もう片方の手で打つことは許されない。)

#### 7 プレー上の動作

- ・ サービスを直接アタックもしくはブロックして相手コートに返すことはできない。
  - \* アタックとはネット上端より完全に高い位置から、相手コートに向かってボール送ろうとする全ての動作を言う。
  - \* ブロックとはネットに接近して、相手方から送られてくるボールを、ネット上端より上方で、阻止する行為を言う。
- ・ 両手の手のひらを上に向けてのアンダーハンドパスは不可とする。(2012年度より)
- ・ プレー中にネットに接触しても、相手チームの妨害にならない限りプレーを継続する。ただし、ネット上部の白帯に触れたらネットタッチの反則とする。

#### 第4条 服装

- ・ ナンバーは、ユニホームの胸部と背部の中央に付けなければならない。
- ・ チームキャプテンは、胸のナンバーの下にマーク（横線）を付けなければならない。
- ・ 監督・コーチ・マネージャーはそれぞれ胸にワッペンを付けなければならない。
- ・ リベロプレーヤーは、チームのウェアとは対照的な色のウェアを着ること

#### 第5条 監督、コーチ、キャプテン

- ・ 競技中断時、ゲームキャプテンだけが審判に話しかけることができる。
- ・ 監督はベンチの記録席に最も近い位置に座る。ただし、一時的にベンチを離れてもよい。
- ・ 監督は試合を妨害あるいは遅延しない限り、アタック・ラインの延長線からウォーム・アップ・エリアまでのフリー・ゾーンの範囲内で、立ったままで、あるいは歩きながら指示を与えることができる。
- ・ コーチ、マネージャーはベンチに座るが、試合に介入することはできない。  
(ただし、タイムアウト時はこの限りでない。)

#### 第6条 その他、競技規定に定めがないものは、6人制競技規則によるものとする。

## 解説

### リベロプレーヤーについて

リベロプレーヤーはとても特殊なポジションで、守備（主にレシーブ）のスペシャリストです。

リベロプレーヤーは、

- 後衛にいる選手となら誰とでも何度でも交代出来る（通常の選手交代の数に数えない）
- いつでも交代出来る（審判の許可が必要無い）なお、この「いつでも」というのは、ラリーが終了して、サーブ許可の笛が鳴るまでの間に限る
- コートから出る時は入る時に交代した選手としか交代出来ない
- 自チームのベンチ側のアタックライン～エンドライン間のサイドラインから出入りする
- 他のプレーヤーとは対照的で異なった色のユニフォームを着用しなければならない

という他のプレーヤーとは違うルールが適用されます。

さらに、守備専門のプレーヤーですので、リベロプレーヤーはネットより高い位置にあるボールに触れることは出来ません。つまりスパイクやブロックは出来ません。サーブを打つことも出来ません。

また、リベロプレーヤーがフロントゾーン内でトスをあげて他の選手が攻撃をする、というプレーも反則となります。（アタックラインより後方からのトスならOK）